

授業科目名 <英訳>	民法第一部（総則・親族） Civil Law I			担当者氏名	法学研究科 教授 松岡 久和				
配当学年	2・3	単位数	4	開講期	前期	曜時限	月2,金1	授業形態	講義
【授業の概要・目的】									
<p>本講義では、民法第1編総則および第4編「親族」に置かれた諸制度を取り上げ、各制度の基礎にある考え方および具体的な制度内容について解説します。</p> <p>民法総則と親族法の主要制度および基本問題を具体的場面に関係づけて理解することを、到達目標とします。</p>									
【授業計画と内容】									
<p>まず、民法総則について、おおむね以下の話題の順序で講義します。</p> <p>(1) 民法入門、(2) 権利の主体（自然人）、(3) 権利の客体（物）、(4) 法律行為（総論）、(5) 心裡留保・虚偽表示、(6) 詐欺・強迫とその拡張、(7) 錯誤、(8) 無効・取消、(9) 法律行為の内容規制、(10) 条件・期限、(11) 行為能力制度、(12) 代理（総論）、(13) 無権代理、(14) 表見代理、(15) 法人制度、(16) 法人の外部関係、(17) 時効制度、(18) 時効の援用・中断、(19) 物権法との交錯問題、(20) 権利濫用・信義則</p> <p>次いで、親族法に進み、以下の話題の順序で講義します。</p> <p>(21) 婚姻、(22) 離婚、(23) 親子</p> <p>各項目につき、1～2回の授業回を割り当てます。初回の授業時に、より詳細な進行計画を示します。</p>									
【履修要件】									
特になし									
【成績評価の方法・基準】									
期末試験のみによります。									
【教科書】									
<p>永田眞三郎・松本恒雄・松岡久和 『民法入門・総則 [第4版]』（有斐閣、2008年）ISBN:978-4-641-18363-6</p> <p>佐久間毅 『民法の基礎 1 総則（第3版）』（有斐閣、2008年）ISBN:978-4-641-13518-5（山本敬三『民法講義 1 総則（第3版）』（有斐閣、2011年）でもよい。）</p> <p>高橋朋子・床谷文雄・棚村雅之 『民法 7 親族・相続（第3版）』（有斐閣、2011年）ISBN:978-4-641-12452-3</p> <p>松本恒雄・潮見佳男（編） 『判例プラクティス 民法 総則・物権』（信山社、2010年）ISBN:978-4-7972-2626-3</p>									
【参考書等】									
<p>（参考書）</p> <p>教科書を複数挙げていることの意味は最初の講義の時に説明します。</p> <p>参考書・参考文献についても最初の回に教科書と併せて説明します。</p>									
（その他（授業外学習の指示・オフィスアワー等））									
<ul style="list-style-type: none"> ・授業には小型の六法は必携です。 ・教科書は自習用です。各回の講義項目につき教科書による予習や復習が望まれます。 <p>オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。</p>									